

町長 行政報告



池田町長

8月3・9日の台風12・11号は、合併以来最大規模の災害であった。被災された方へのお見舞いと災害調査に協力下さった「津野町防災協議会」の建設業者の皆様にお礼を申し上げる。

台風12号・11号の被害状況

・道路等

家屋倒壊1棟、公共土木災害17件、林道災害14件、耕地災害5件、住宅裏がけ崩れ4件、小規模崩壊・土砂流出等約100件を確認済み。現被害額は約4億9千万円。被災後は生活圏域の通行路

の確保・土砂除去・暗渠の土砂つまりの解消を優先し、住民生活に支障のないレベルに回復。今後は災害査定
の動向を見守りつつ治山・砂防・山地災害対策の各事業を導入しながら速やかな対策工事を施す。特に生活圏域と観光資源に直結した林道災害復旧に全力をあげる。

・農業

ハウス施設の被覆資材や浸水・路地での土砂流入等に、7月下旬からの日照不足も加わり東地区のししとうが対前年比3割減、西地区のなす・みょうが等が2〜3割減の見込み。

・林業

本年度に木材搬出実施計画のある7路線を含む作業道15路線に被害。素材生産量への影響を懸念。国庫事業の活用で森林組合が復旧を進める。

・観光

天狗高原へのメイン道や四万十川源流点への林道等、各観光地へのアクセス道が崩壊により通行止め。宿泊キャンセルが相次ぎ大幅な減収。

天候不順も影響し道の駅布施ヶ坂・風車の駅の8月1日〜20日の売上が対前年比約40〜45%減。
25年度歳入歳出決算状況
8月の監査の結果、実質公債比率△2.1%。健全な財政状況であった。

地区座談会

6月18日〜7月18日に「津野町10年の歩み」をテーマに町内10箇所地区座談会を開催。出席者は述べ162名。農林業、ゴミ処理、公園整備や観光、光ケーブル整備事業、防災対策、教育や道路に関する要望・意見・質問等頂いた。2月に発刊予定の町づくり計画に反映させ今後の町政に生かす。

各地域づくり活動状況

郷・白石・船戸は昨年までに地域の方々と策定した活性化計画に基づいた事業を展開。郷は地区総会にて集落活動センターに名乗りをあげること議決。白石は旧小学校拡張工事と共に住民組織「白石物語」の更



9月定例会（西庁舎）